

令和7年度牧之原市立相良中学校 学校評価（後期）

校長名 北島 克己

1 昨年度の成果〇と課題・

<p>○生徒会を中心として、相中ハンドブックの内容を見直す活動が行われ、生徒の主体性を高める取組が進められた。</p> <p>○担任を中心とした学年部の継続的な働き掛け等により、安心して学校生活を送ることのできる生徒が増えている。（欠席生徒の減少）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え行動したり、根気強く物事に取り組んだりすることの苦手な生徒が多い。 ・たくましさ（つよさ、しなやかさ・柔軟性、レジリエンス）に欠ける。
--

2 本年度の基本方針（経営の重点）

<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が、自分らしく生きることのできる存在へと、自発的・主体的に発達・成長し、誰もが笑顔で生き生きと活躍しようとするための生徒指導の充実を図る。 2 「学校教育の中心は『授業』である」という基本理念のもと、学ぶことを楽しいと感じ、自ら追究し、共に学び合おうとする力を育てる。 3 活力、自治力、実行力を伸ばし、自らの学校を自らの力でよりよくしようとする教育活動を推進する。 4 健康や安全について考え、自ら進んで仲間と鍛えようとする力を育てる。 5 学校、家庭、地域社会が連携し、愛され信頼される学校をつくとともに、相良のまちを愛する心を育てる。 6 9年間のつながりを意識した相良地区小中連携事業を推進する。 7 教職員が誇りとやりがいを持ち、笑顔があふれ働きやすい学校をつくる。
--

3 具体的な取組

目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果〇と課題・
1 生徒が、自分らしく生きることのできる存在へと、自発的・主体的に発達・成長し、誰もが笑顔で生き生きと活躍しようとするための生徒指導の充実を図る。	<p>○発達支持的生徒指導の教育観・指導観を生かし、「生徒の耀き（よさや可能性）」を見つけ、広める。</p> <p>○SCやSSW、外部機関等を活用して、特別な支援を要する生徒とその保護者への継続的支援を進める。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①「学校に来ることは楽しいか」生徒評価95%以上 ②「先生は、あなたのよさや頑張りを認めてくれるか」生徒評価95%以上 	B	<p>①92.5%→92.3%②90.1%→90.9%</p> <p>○発達支持的生徒指導の考え方が意識されてきたことにより②微増が考えられる。今後も推進し、より「学校が楽しい」につなげたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する生徒への働き掛けを行政等の力を借りながら行っていく。
2 「学校教育の中心は『授業』である」という基本理念のもと、学ぶことを楽しいと感じ、自ら追究し、共に学び合おうとする力を育てる。	<p>○研修テーマ「自ら学びに向かう生徒の育成～個別最適な学びと協働的な学びを生かして～」を意識した授業の充実を図る。</p> <p>○互いの授業を見合い、授業について語り合う。</p> <p>○1人1台端末を取り入れた授業づくりを進める。（ICT教育の推進）</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①「自ら考え、進んで授業に取り組んでいるか」生徒評価95%以上 ②「他の先生の授業を見て授業について語り合えたか」教職員評価学期2回以上 	B	<p>①90.1%→90.9% ②100%→100%</p> <p>○「主体的な学び」につながる授業改善（AIや習熟度別問題等の活用）がなされている成果だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「対話的な学び」を大切にすることやAIのより効果的な活用法を全職員で研修していく。

<p>3 活力、自治力、実行力を伸ばし、自らの学校を自らの力でよりよくしようとする教育活動を推進する。</p>	<p>○生徒の創意を生かし「よりよい学校づくり」「全ての生徒が耀く学校づくり」を目指した生徒会活動の充実を推進する。(感動を生む七耀祭、学校行事、相中4つの誇り：つながる授業、爽やかな挨拶、黙働清掃、感動する歌声)</p>	<p>①「授業以外でも自ら考え、進んで行動できたか」生徒評価 80%以上</p>	<p>B</p>	<p>①86.5%→87.4% ○委員の発想により委員会等で生徒による主体的な取組が増えてきた。 ・行事を点で終わらせるのではなく、行事の日常化、日常の行事化を意識させたい。</p>
<p>4 健康や安全について考え、自ら進んで仲間と鍛えようとする力を育てる。</p>	<p>○体づくりに関する指導 (心も体も磨き合う場の設定) ○健康づくりに関する指導 (心と体を整える場の設定) ○食に関する指導 (食事のマナーや大切さを学ぶ食育指導) ○安全に関する指導 (「自分の身は自分で守る」防災意識の徹底、津波等の避難訓練)</p>	<p>①「自分にはよいところがあるか」(保健委員会)生徒評価 80%以上 ②学校保健委員会 ③1年食の指導 年1回以上 ④避難訓練 年3回以上 ⑤自転車等の交通事故 年0件</p>	<p>A</p>	<p>①86.5%→85.6% ②1回→1回 ③1回→3回 ④2回→3回 ⑤0件→1件 ○今年度は様々な場面を想定した避難訓練を実施し、教職員も生徒も「その時どのように行動したらよいか」を意識できた。 ・1年生の自転車の乗り方に不安を感じる。自転車ルールだけでなく、基本的な技能について小学校と連携しながら身に付けさせる必要がある。</p>
<p>5 学校、家庭、地域社会が連携し、愛され信頼される学校をつくとともに、相良のまちを愛する心を育てる。</p>	<p>○学校運営協議会を機能させたコミュニティ・スクールの推進に努める。 ○生徒自らが積極的に地域へ出かけ、地域との関わりを深める。 ○HPや学校便りなどを通して、本校の教育活動やよさを情報発信する。</p>	<p>①「相良中には、信頼できる教職員がいるか」保護者評価 100% ②地域ボランティア参加 全校生徒1割以上 ③HP 毎週更新 ④学校便り 年10号以上発行</p>	<p>B</p>	<p>①84.0%→87.6% ②6%→12.1% ③100%→100% ④30%→70% ○学校便り等を使った情報発信はメールシステムを活用することで積極的に行うことができた。 ・地元企業や相良高校、榛原高校の魅力を発信する場をより多く持って行きたい。(進路決定につなげる)</p>
<p>6 9年間のつながりを意識した相良地区小中連携事業を推進する。</p>	<p>○牧之原市の進めるキャリア教育(起郷家教育)を軸とした小中一貫教育の取組として「命と防災(1年生)」「仕事と価値創造(2、3年生)」を推進する。 ○小中教職員合同研修、小中学校児童・生徒間の交流活動 ○義務教育学校に向けた部会活動の実施</p>	<p>①担当学年を中心とした総合の実施 ②小中合同研修会 年2回 ③小中特別支援学級交流 年1回以上</p>	<p>A</p>	<p>①33%→100% ②50.0%→100% ③0回→2回 ○小中連携事業を地道に行うことで、小中学校職員の距離が縮まった。 ・今後も各研究部で話し合いを進めていきたい。</p>

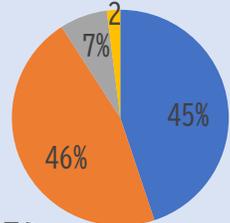
<p>7 教職員が誇りとやりがいを持ち、笑顔があふれ働きやすい学校をつくる。</p>	<p>○語り合い、笑い合える職員室をつくる。(心理的安全性の高い教職員集団) ○学校の組織力を高める。(ミドルリーダーの育成、若手職員に対する支援の充実等)</p>	<p>①「学校に来ることが楽しいか」教職員評価 90%以上 ②OJTを活用した研修 年3回以上</p>	<p>B</p> <p>①84.0%→85.3% ②30%→100% ・教職員が生き生きと働けることが「生徒が生き生きと活動できる」につながる。より教職員間の対話を大切にするとともに、教職員の思いを聞き取ったり声掛けに努めたりして心理的安全性の高い教職員集団を目指したい。</p>
--	--	---	---

令和7年度後期 学校アンケート結果

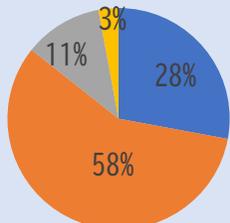
相良中学校では、学校教育目標「感動を創り 夢を拓く相中生」の実現に向けて取り組んでいます。本年度からは重点目標を「自ら考え、進んで行動する」とし、**生徒の主体性を育むこと**を目指しています。

ここで、2学期末に生徒及び保護者の皆様に御協力いただいたアンケートの集計結果を報告いたします。この結果を今後に生かし、本校の教育活動がより良いものになるよう努めます。

【生徒】
先生は、あなたのよさやがんばりを認めてくれますか？

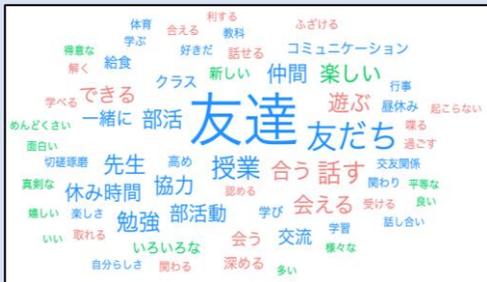


【生徒】
あなたは、自分にはよいところがあると思いますか？



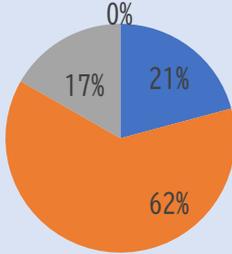
自己肯定感が高く、がんばりを認めてもらえていると感じている生徒が1学期に引き続き高い割合でした。授業や行事、部活動など、様々な場面で生徒の頑張る姿が見られました。保護者の皆様や教職員による日頃からの声掛け、生徒のよさやがんばりを認めている成果だと思えます。引き続き家庭と学校とで連携し教職員によるあたたかな言葉かけをしていきます。ぜひ御家庭でも引き続きお子様のよさを認め、連携して子供たちの成長を支えていきましょう。

【生徒】
あなたが考える「学校の楽しさ」とは何ですか？
(自由記述)



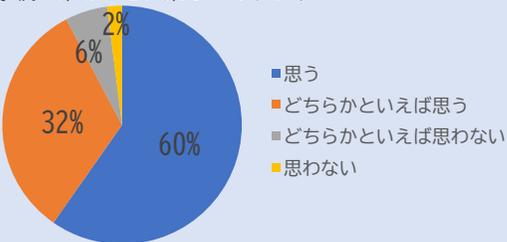
左図は生徒アンケートの回答にあった単語について、出現頻度が高い単語を大きく表している図です。この図で「友達」「コミュニケーション」「授業」「部活動」「休み時間」などが多く頻出していることから、生徒が学校生活において協力や交流を重視していることが分かります。また、「新しい」「共有」「深める」など前向きな変化も見ることができます。そのような中で、92%の生徒が肯定的な回答を示しています。七耀祭を通して、仲間との関わりが安定した中で満足感や達成感が得られたことが理由として考えられます。引き続き人との関わりを大切にしながら学級経営や、他者との関わりを通して深まる授業づくりに努めていきます。

【教職員】学校に来ることは楽しいですか？
(グラントデザイン項目「教職員が誇りとやりがいを持った学校づくり」をもとに回答)



前期と比較し、肯定的な回答の割合はほぼ変わりませんでしたが、強い否定の割合がなくなりました。生徒の健やかな成長を支えるためにも、引き続き私たち教職員同士の情報共有と合意形成を図りながら、学校運営を進めていきます。

【生徒】
学校に来ることは楽しいですか？



令和7年度相良中学校グラントデザイン

学校教育目標

感動を創り 夢を拓く相中生

重点目標

自ら考え、進んで行動する

国：教育振興基本計画
県：「有徳の人」の育成
市：こころざしを持ち夢ある人づくり

生徒の実態
○素直で、明るく優しい
○真面目に一生懸命取り組む
●主体性やたくましさに欠ける

生徒の輝きを見つけ伸ばす発達支持的生徒指導
(生徒)先生は、あなたのよさや頑張りを認めてくれるか。(95%)

学校教育の中心は「授業」
(生徒)自ら進んで授業に取り組んでいるか。(95%)

安全・安心の礎づくり
(生徒)学校に来ることが楽しいか。(95%)

活力、自治力、実行力を伸ばす教育活動
(生徒)重点目標を達成できたか。(80%)



教職員が誇りとやりがいを持った学校づくり
(教職員)学校に来ることが楽しいか。(90%)

学校・家庭・地域社会が連携し信頼される学校づくり
(保護者)相良中には、信頼できる教職員がいるか。(100%)

9年間のつながりを意識した相良地区小中連携事業の推進

相良小学校

地頭方小学校

菅山小学校

萩間小学校

令和7年度相良中学校グランドデザイン

学校教育目標

感動を創り 夢を拓く相中生

重点目標

自ら考え、進んで行動する

国：教育振興基本計画

県：「有徳の人」の育成

市：こころざしを持ち
夢ある人づくり

生徒の実態

- 素直で、明るく優しい
- 真面目に一生懸命取り組む
- 主体性やたくましさに欠ける

生徒の輝きを見つけ
伸ばす発達支持的生徒指導

(生徒) 先生は、あなたのよさや頑張りを認めてくれるか。(95%)

学校教育の中心は「授業」

(生徒) 自ら進んで授業に取り組んでいるか。(95%)

安全・安心の礎づくり
(生徒) 学校に来ることが楽しいか。(95%)

活力、自治力、実行力を
伸ばす教育活動
(生徒) 重点目標を達成できたか。(80%)

教職員が誇りとやりがいを持った学校づくり
(教職員) 学校に来ることが楽しいか。(90%)

学校・家庭・地域社会が連携し
信頼される学校づくり
(保護者) 相良中には、信頼できる教職員がいるか。(100%)

9年間のつながりを意識した
相良地区小中連携事業の推進

相良小学校

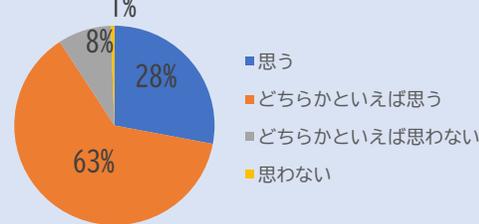
菅山小学校

萩間小学校

地頭方小学校

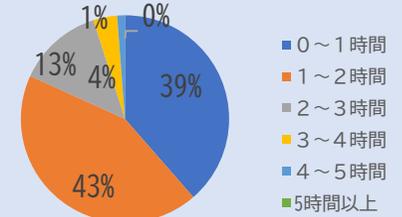
牧之原市では、小中学校の義務教育9年間を通して、キャリア教育（起郷家教育）を軸とした小中一貫教育を推進しています。相良地区では、相良中と4小学校とで、合同の研修会や交流活動を行っています。また、「命と防災(1年生)」「仕事と価値創造(2、3年生)」などの取組も進めています。

【生徒】
自ら進んで授業に取り組んでいますか？



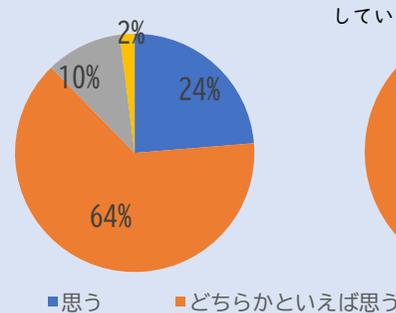
90%以上の生徒が肯定的な回答を示しています。引き続き「生徒の主体性を伸ばす授業づくり」をテーマに、主体的な学びの質的向上を目指し、全校体制で研修を深めていきます。

【保護者】
お子様の平日の家庭学習の時間は約何時間ですか？

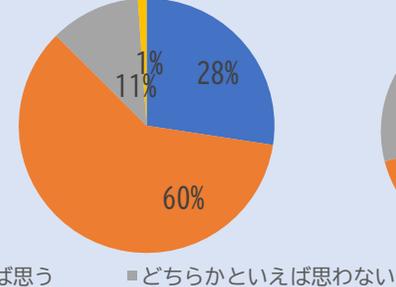


第1回調査よりも1～2時間の回答の割合が増加したものの、全体の82%が2時間未満でした。本校の課題の1つである「知識・理解の向上」を図るため、学校における授業改善とともに家庭学習の質的・量的充実が課題です。

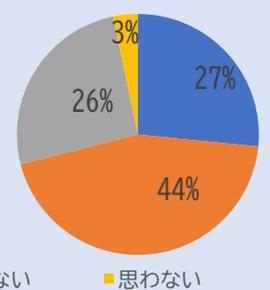
【生徒】
重点目標を達成できましたか？



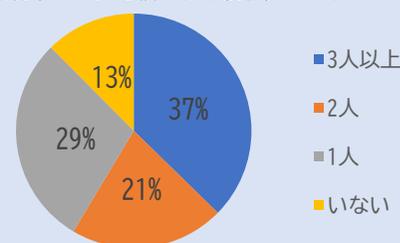
【生徒】
授業以外でも、自ら進んで行動していますか？



【保護者】
お子様は、御家庭で自ら進んで行動する姿が見られましたか？



【保護者】
相良中には、信頼できる教職員がいますか？



学校生活において、主体的な取組ができたと回答した生徒は88%と高い割合を示しました。特に、文化発表会では、生徒が自分たちの合唱をより良くしたいという思いのもと、率先して練習に励む姿が見られました。授業においても、仲間と協力して課題解決に向けて取り組む姿勢が見られます。御家庭においても71%の保護者の方が肯定的な回答でした。生徒の達成感に寄り添い、支えながら、それを家庭や実生活につなげていけるように促していきます。

信頼できる教職員が1人以上いると回答した保護者の割合は前期と比較してやや増加し、87%でした。職員と保護者は生徒を育てるパートナーです。よりよい信頼関係が今後も継続するように連携していきましょう。私たちは今後も保護者の皆様との対話を大切にしながらか教育活動を進めていきます。

お忙しい中、アンケートへの御協力ありがとうございました